

第〇回とよた森づくり委員会

議事録（案）

日 時：	平成 2 8 年 7 月 7 日（木） 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0
場 所：	豊田森林組合本所
出 席 者：	別紙参照
配布資料：	別紙参照

※以下、敬称略

1. 開会

※事務局にて配付資料の確認について説明

※次いで とよた森づくり委員会長及び豊田市産業部長 より開会挨拶

● とよた森づくり委員会 会長 岡本

- ・ 日頃より森づくり委員会の運営や〇〇〇 については大変お世話になり感謝申し上げます。
- ・ この、〇〇〇〇〇〇〇〇〇は平成 25 年 1 月から意見交換会として始まり、平成 26 年 1 月に協議会として設立され、これまで実務レベルでの幹事会において地域ビジョン策定を進めてきた。これまでご協力に感謝申し上げます。

※事務局にて議事次第確認の後、出席者確認は資料「出席者一覧」の確認にて実施

2. 議事

(1) 〇〇について

※事務局にて資料 4-1 について説明

●事務局

- ・ スライド 3 枚目では、〇〇〇における各活動、各取り組みについて説明している。
- ・ スライド 4 枚目に示しているのは、各主体が連携することの意義についてである。
「よりよい地域づくりの形成」を目指していきたいということで協議会の立ち上げに結びついた。
- ・ スライド 5 枚目は、〇〇〇の様々な取り組みと本協議会の関係を示したものである。国や県、市町村、民間団体が加わることで本協議会が構成されている。本協議会の設立目的は、地域が一体となって〇〇〇〇〇〇〇〇の課題解決や地域振興を推進することであり、ビジョン策定を通じて、地域が一体化した取り組みを進めていこうというものである。

<質疑応答>

● ○○委員

- ・ 平成 27 年度以降における、年 1 回の本会議開催時期はいつ頃の想定か。ビジョンに基づいた取り組みの進捗の共有ということであれば、取り組みの結果と今後の対応方針を検討することになるので、1～3 月頃の開催を想定していればよい。

● 森林課 ○○

- ・ 具体的には決まっていないが、秋過ぎで検討中。具体的な時期については都度ご相談したい。

● ○○委員

- ・ 20 年後の将来像ということだが、少子高齢化の影響や経済の縮小などが社会的課題となっている現状において、どのように交流をすすめていくのか。都市と農村の交流について全然触れないのも疑問である。
- ・ ○○○○○○○○○○ ということで直接関係がないかもしれないが、将来像としては右肩上がりすぎる印象を有する。豊田森づくり 100 年に向けて、現状と将来が見えてこない、ぴんときない印象を有する。
- ・ 共通目標に向けた 3 つの取り組みは、地域の方が担っていくことになると思うが、現状を考慮すると（ビジョン案は）安易に受け入れられない印象を有する。あくまで目標とはいえ、安易な表現ではないだろうか。

● 森林課 ○○

- ・ このことについては豊田市 だけでなく日本全国共通の課題である。豊田市森づくり構想にあたっては直接的に関連する議論ではないが、考慮する必要がある社会情勢であることは認識している。しかしながらこの課題について、現段階で 委員会 としての方針を打ち出していくことはなかなか難しい。現状の課題として加筆する形でとりまとめたいと考えている。
- ・ ○○○○○○○○○○○○ である草原や農地は二次的自然であり、農林水産業と非常に深いかわりがある。その担い手が持続可能であることが ○○○○○○○○○○ の景観の健全性にも関わってくる。草原再生の取り組みも○○○○○○○と連携して取り組む必要があると認識している。

● ○○委員

- ・ 20 年後の将来像ということだが、少子高齢化の影響や経済の縮小などが社会的課題となっている現状において、どのように交流をすすめていくのか。都市と農村の交流について全然触れないのも疑問である。
- ・ ○○○○○○○○○○ ということで直接関係がないかもしれないが、将来像としては右肩上がりすぎる印象を有する。豊田森づくり 100 年に向けて、現状と将来が見えてこない、ぴんときない印象を有する。

● 森林課 ○○

- ・ このことについては豊田市 だけでなく日本全国共通の課題である。豊田市森づくり構想にあたっては直接的に関連する議論ではないが、考慮する必要がある社会情勢であることは認識している。しかしながらこの課題について、現段階で 委員会 としての方針を打ち出していくことはなかなか難しい。現状の課題として加筆する形でとりまとめたいと考えている。